



▲千代田区景観まちづくり重要物件にも指定



▲レトロ感漂うオリジナルノート類と“クリッピー”



▲由緒ある看板が迎えてくれるギャラリーカフェ



▲フレッシュな作品で彩られたギャラリー

『ちょっと探訪』では、知る人ぞ知るちよだの魅力に迫ります。第14回は、「暮らしにアートを」をコンセプトに歴史を刻む老舗文具店文房堂をご紹介します。

どこか欧風な4連のアーチ窓とスクラッチタイルが特徴の古き良き趣のあるファサードを残す建物。猫のアーチをくぐって、お店の1Fに一步足を踏み入れると、そこは文具やかわいらしい雑貨好きにはたまらないパラダイス。プレゼント選びにも最適の空間が広がる。品質性能の良さで定評のある日本製の文具を求めて外国人観光客も連日訪れている。1887年創業。創業者の池田次郎吉が福沢諭吉の門下生だったことから画材の輸入販売を勧められたそうで、その歴史の重みに圧倒される。オリジナル商品には、数多の有名作家御用達の原稿用紙があり、特注でさまざまな種類をそろえ中原中也もひいきにしていたという。

国産初となる画家専用油絵具も販売。発色の良さが評判で、愛用者には、梅原龍三郎、藤田嗣治らが名を連ねる。シンプルなデザインで使い勝手が良い事務用品のペーパークリップ“クリッピー”は昨年30周年を迎えた引き続きの人気商品だ。

さらに上層階ではアートスクールを開講しており、シニア層を中心に800名近い方が学ばれている。プログラムもバラエティー豊富で、水彩・油彩をはじめ、銅版画・木版画・仏像彫刻など70を超える。

とくにおすすめは、3Fのギャラリーカフェ。こちらは2016年からと新顔で、もともとは額縁売り場だったが、絵を見ながら語り合える場所を求めるアートスクール帰りの生徒さんと先生の声もあり、この形となった。貸しギャラリーとして週単位の個人レンタルはもちろん、個性豊かな作家たちの企画展などを開催している。お気に入りの席を見つけて自分だけの景色のなかで、とびきり贅沢な時間を過ごせる。人気店（STYLE'S CAKES & CO.）のケーキもぜひご賞味あれ。すずらん通りの賑わいを一望できる窓際の席で、都会の喧騒から逃れて読書などを楽しみたい。

将来の展望をうかがうと、「それぞれのスタッフが情熱を持ち続け、次世代にバトンをつなぐこと。そして神保町に住み、また訪れる皆さまに愛されるお店作りをしていきたいです」と猫派の鍋田副店長が熱く語ってくださった。



▲階段脇に並んだおしゃれなポストカード



▲どれも欲しくなってしまう可愛い雑貨たち

INFO 〒101-0051 千代田区神田神保町1-21-1 <http://www.bumpodo.co.jp/> 〔営業時間〕10:00-18:30 年中無休 *年末年始除く

〈編集後記／津山〉突然の内部事情ですが、現在DanDanは3名体制で制作しており、1つの取材先にはそのうち2名で赴くケースがほとんどです。というわけで、特集「SOZO BOX」の取材時には実際に、お留守番となったスタッフへの“送贈”を体験してみました。「コーヒーは飲まないですよ」ね「なんか、黄色のイメージありません?」と、無意識に相手を“想像”していることに気づきました。まんまと策略に乗ってしまった気もしますが、贈る先を想いながら何かを送る、郵便局が150年近く続けてきた「送る」の原点を体験した取材となりました。

DanDan 読者アンケート

皆さまのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。アンケートフォームよりご回答いただき、九段生涯学習館1階受付でメール画面をご提示いただいた方には当館オリジナルグッズをプレゼントいたします。

※先着順／なくなり次第配布終了となります



DanDan Vol.39



学んでつながる

わ

「点と点がつながった」。思いがけない組み合わせで、思いも寄らない知識にたどり着いたときに使う表現です。学びによって得た知見は、元は小さな・(点)だった誰かと誰か、過去と今と未来、何かと何かをつなぐ

パーツとなり、そうしてできた〇(わ)がまた新たな学びや視点へつながるループの中で私たちは生きています。さあ、千代田区内に散らばる〇のパーツを探しに出かけてみませんか?

“送る”が“贈る”につながる場所 ～SOZO BOX～



» 最近誰かに贈り物、しましたか? 人と人をつなぐ重要な手段のひとつである「贈り物」に特化した小さなお店が、秋葉原駅から御徒町駅へ向かう高架下にあります。手がけたのは日本郵政株式会社。「送る」のプロフェッショナルである日本郵政がプロデュースする贈り物とは? 軸となった「みらいの郵便局」って?

» 「今まで郵便局がしてこなかったことを」との想いのもと展開する「みらいの郵便局プロジェクト」。地域と地域をつなぐ取り組みなどがある中で、贈り物を通じて身近な人より気軽につながることをテーマとして生まれた実証実験店舗が、ここSOZO BOXです。日本郵政株式会社 DX戦略部・佐藤翼氏と布施友梨佳氏にお話を伺いました。



▲秋葉原駅電気街口から高架下を歩くと見えてくる

SOZO BOX » 〒101-0022 千代田区神田練堀町15-1 <https://www.sozobox.pf.japanpost.jp/>
〔営業時間〕11:00-20:00 〔定休日〕なし *SEEKBASE定休日 に準ずる

SOZO BOX

1 郵便局に私たちが抱くイメージのひとつが信頼感ですが、そのイメージは時に“堅い”“手続きの場所”と表裏一体となるものです。堅さを払拭して親しみやすさを添え、発送手続きを超えた体験を提供すべく、「相手のことを想像しながら贈り物を選ぶ／ラッピングで贈り物の形を造る／発送する」の一連の流れがワンストップでできる場所になっています。



3 ではなぜ、「贈り物」なのか。「送る」を突き詰めてたどり着いたのが、“贈る”でした」と、布施氏。150年近くにわたり、モノや言葉を送ることで人々をつないできた実績のある日本郵政グループ。改めて「人が誰かに何かを送るのはなんのため？」を追求した結果、「想いをモノに託して贈る」にたどり着いたそうです。実証実験の1年目は、よりストレートに想いが伝わる“本”を選書して扱う「SOZO BOOKS」からスタートし、リニューアルして今に至ります。



▲左から佐藤氏、布施氏

5 期間を決めて始まったこの実証実験も、終盤へと差し掛かっています。ここまでの手ごたえや、今後の展開についても伺いました。今まで短期間のポップアップが中心で、2年にわたる店舗運営自体が挑戦であり学びになったといえます。ユニークなリアル店舗は強みであるとともに、その場に赴かないと体験できない弱みも抱えています。そのため次の施策としては、デジタルを用いた「その場になくてもできる」取り組みも考えられているそうです。

2 親しみやすさを追求する姿勢は店内のデザインにも表れており、壁やインテリアの赤色も「コーポレートカラーにはこだわらず、部屋全体に使われている白や木目と調和する色を選んでいきます」と佐藤氏が教えてくださいました。



4 東京のど真ん中である千代田区から日本・世界の各地へと贈り物が旅立っていった様子が視覚的にわかるのが、店舗奥の「足跡ウォール」です。土地柄、外国人観光客や通勤客がふらりと立ち寄る姿も見られるそう。一方、さくらまつりの時期には特にお店が盛り上がったそうで、地元の方からも愛されている地域であると実感されたとのこと。



▲近くは23区内、遠くは小笠原や海外へ

私たちにとってあまりにも身近で、変化していく姿に考えが及ばなかった郵便局。このSOZO BOXを足掛かりとした今後の展開から、目が離せません。



編集部員が
やってみた

想像する

贈る相手や伝えたいことをイメージしつつ、贈りたいものを選びます。メッセージカードをその場で生成・印刷できる「MESSAGE FLOWER」なるサービスも。贈り物は持ち込みも可能です。



創造する

500円(取材時)で包装資材が自由に使えるラッピングBAR。個人では難しいシリーングスタンプも体験できます。スタッフの方のサポートで、きれいに完成！



送贈する

店舗中央のポストに投函した際に現れる仕掛けは、現地でのお楽しみ。もちろん、分厚いものや手渡ししたいものは発送せずにお持ち帰りもOKです。

わ

ジュニアカレッジ「Let's try running ～現役トレーナーに学ぶ！駿足のコツ～」

講座レポート》8/22[金]に千代田区立スポーツセンターで、小学生向けのランニング講座を開催しました！

L.L.News 1



▲背すじをピッと伸ばそう



▲笛の音にすぐ反応できるように準備！

黒坂美玖先生からのコメント

普段から子ども向けの教室を担当することがあります。千代田区内の子どもたちは、元気な子ばかりで、よく話を聞いてくれる印象でした。今日、子どもたちと練習したことは、私が走り方を教えるときに大切にしているポイントなので、これからも意識しながら実践してもらえたらと思います。コロナ以降、運動ができる機会も少なくなっていると思いますが、東京の真ん中という立地で、大人から子ども向けに、さまざまな教室を展開しているので、気軽に運動しに来ていただけると嬉しいです。



最後に
リレーで勝負！

◀黒坂美玖先生(左)
サポートの遠藤剛先生(右)



千代田区立スポーツセンター

〒101-0074 千代田区内神田2-1-8

<https://shisetsu.mizuno.jp/m-7501>

〔休館日〕毎月第3月曜日(祝日にあたる場合は次の平日)、12/29～1/3

わ

“駿足”ギャラリー展示

関連イベント》講座中に測定したタイムや、当日の様子(写真)などの成果を当館「九段ギャラリー」にて展示しました

L.L.News 2



九段ギャラリーを是非ご利用ください！

駅から徒歩0分の広々空間で、個展やグループ展をしませんか？九段生涯学習館2階 九段ギャラリーでは、作品発表や展示の場としてギャラリースペースの貸出しをしております。どなたでもご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。



〔貸出時間〕9:00～21:00(開館時間に準ずる) ◆最大14日間利用可能 ◆毎月第3月曜休館(祝日にあたる場合は次の平日) ◆年末年始休館(12/29～1/3)

〔ご予約開始時期〕*2025年8月1日より変更となりました ◆区民自主団体・一般団体…利用月4か月前の1日から ◆当館未登録団体・個人・区外…利用月3か月前の1日から

